

海老名市立門沢橋小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第2回)

- 1 日時 令和4年10月26日(水) 10:00~11:30
- 2 場所 海老名市立門沢橋小学校 家庭科室
- 3 出席委員 牛村忠雄委員長、大島千佳委員、仲谷薫委員、佐川滝三委員
大河原俊一委員、長谷堯委員、関谷めぐみ委員
武井友勝委員、濱野喜八郎委員、西海豊道委員
後藤純子委員、潮田佑介委員

4 会議の内容

(1) 会長挨拶

牛村会長：コロナも少なくなってきた、学校も落ち着いて行事等を行っているようだ。1年もあっという間で今年も残りあと2ヶ月となった。本日も活発なご協議をよろしくお願いします。

(2) 校長挨拶

後藤校長：11月は3年ぶりにもちつき大会を行うことになった。本当に久しぶりのもちつき開催で経験したことのない職員も多いので、今年はたくさんの方を招いてということだけでなく校内で実施したいと考えている。また秋の行事が続いており、先週は修学旅行、今週は稲刈り、連合運動会を行う。このような行事を通して子どもたちが成長していくことを願っている。

(3) 報告

○開校50周年記念事業について

後藤校長：先日10月20日に開校記念日があり子どもたちには開校記念日について放送で伝えた。式典については1月21日を予定しており、学校運営協議会の皆様には本日ご案内をさせていただいた。また、記念誌やすべり台の跡地利用については、実行委員会の中で話し合いをさせていただいている。出来上がったものについては、1月の式典の際に披露させていただきたい。式典の詳細については資料をご覧ください。

佐川委員：遊具①②とあるが、具体として何か考えているのか。

後藤校長：バランスパークと称して平均台のようでジグザグで難易度の高いもの準備したいと考えている。基礎工事から整備していくためには金額もかかるので実行委員会で調整している。また、実行委員会の中では子どもたちも含めてみんなで作れるものがあつたらいい、という声も上がっているのでタイヤ跳びのようなものも

バランスパークの中で考えている。

(4) 議事

○全国学力学習状況調査結果について

牛村会長： 議事とありますが結果について学校のほうから報告をお願いします。

後藤校長： 12月に市のホームページ上で結果として公表するものの資料です。毎年子どもたちの学習状況等の成果や課題を整理し、教職員指導改善のために研究している。また、質問紙の回答状況等については議事内容の門沢橋小学校の子どもたちのよさと課題についての参考にしていただきたい。

現在、門沢橋小学校は校内研究の教科として国語科を研究している。国語の結果から特に気になるところは漢字の習得についてです。さらに、自分の考えをまとめて書くというところや読解に関する問題についても課題があります。また、どの教科も無回答率が高い傾向にあった。この課題から学校としては読書の取組の充実や国語辞典を使う機会を多く設けるようにするなどの指導改善を行っていきたい。

算数については、課題は百分率の問題や作図の手順等のところがあげられる。指導改善としては国語の学習にも関連するが言葉の意味を読み取るような指導を多く取り入れていきたい。

理科については、昆虫のからだのつくりについてはよくできていた。課題としては論理的にまとめるところに苦手意識があるので、日常の言葉を大切にされた指導を積み重ねていきたい。

児童質問紙については、「平日1時間以上学習をしているか」というところに課題があった。「人が困っていたら助けたい」「いじめはぜったいにやっちはいけない」等については全国比で高い結果となっていた。一方、「地域の行事への参加」については低い結果となっていた。家庭に取り組んでいただきたいことについては、読書について等4点挙げさせていただいた。

西海委員： 児童一人ひとりに対してのアドバイス等があるのか。

後藤校長： 児童に対してはすでに「個票」という形で渡している。ただし何問中何問正答だったというようなどころのみの結果となっている。

西海委員： 一人ひとりに分かりやすいアドバイス等があると保護者も安心するのではないか。

関谷委員： 保護者としては細かい資料としていただいたので、子どもの状況が非常にわかりやすかった。

武井委員： 全体的な結果として自分が子どものころとあまり変わらないのではないか。読書をしないというところも変わらない。新聞も興味があるところだけしか読まなかった記憶がある。家庭学習についてもただやりなさいではなく、一人ひとりが関心あるもので、何か個人目標があるとよいのではないか。

関谷委員： 学校からもらったプリントでは学年×10分と設定されている。また有馬図書館が隣接しているという環境は読書をする環境としては非常によい。またネッ

トでも図書館に行くことができるので非常に便利になっている。

佐川委員：地域の行事に参加しているという割合が全国比で非常に少ないが、イメージとしてはそんなこともないとは思いますが。

後藤校長：地域の行事という意味が理解できていないところがあるのかもしれない。例えば市民まつり等も行事なので本来ならば参加している割合は多いと考えている。

大島委員：コロナ禍の中、このような質問があることで数値が低いのではないかと。門沢橋の地区の子どもたちは盆踊り等があれば行く子どもたちなので、単にコロナの影響で行事がなかったように思う。また、4月の時点での質問なので、夏だったら少し結果が違っていただのかもしれない。

仲谷委員：スマホを見ている子どもたちが多いため、漢字が書けないのではないかと。少し書く機会が減っていることが影響しているのではないかと。

後藤校長：教科書もデジタル教科書になっていて書く機会はこれからも減っていくと思う。

関谷委員：家庭ではスマホは制限をかけるようにしている。

後藤校長：全体的にはそのようなスマホ等の約束を守ってくれているご家庭が多い。

関谷委員：友だちとの連絡手段でもあるのでいいところもある。またゲーム感覚で学習できるものもあるのでいいところもある。

○地域・家庭から見る門沢橋小児童のよさや課題について

牛村会長：まず良さについては何かありますか。

関谷委員：素直だと思う。純粋だと思う。

西海委員：校長先生はいろいろな学校で教員を経験してきたと思うが、率直にこの学校はどうか？

後藤校長：素直という言葉が出てきたが、ここに来て大人の言うことを信じる、よく聞く子どもたちだと思う。ただし、自分で考える力も伸ばして欲しいと思う。

武井委員：環境は非常に良いと思う。駅もあるし田んぼもあるので恵まれている。ある程度人もいるので見守りもよい。

関谷委員：有馬図書館があるのがよい。

西海委員：コミセンの体育館やレクリエーション室でよく体を動かしている子を見かける。

佐川委員：中野公園はよく子どもたちを見かける。管理棟で学習している子もいる。

後藤校長：中野公園は約束を守ることにについて指導もした。約束については伝えるとしっかりと守っている。教職員も見守りとしてパトロールを行っている。

大河原委員：相模線で分かれているところがあって通学路は整然とされているが、子どもたちの行動面で単調になっているところがある。

武井委員：相模線を境に住む地域と田んぼの地域と分かれていた。

西海委員：田んぼがどんどんなくなっている。だからこそもちつきのような行事はできる範囲で続けて欲しい。

牛村会長：もちつきに関する課題はあるのか。

後藤校長：稲作協力委員さんやP T AのO Bの方を中心にお手伝いしていただいている。今年はとにかく自分たちで作ったお米を自分たちでついて食べるというところまで経験させたい。

後藤校長：臼を昨日出してみたが、ひび割れがあり状態があまりよくないと思う。

佐川委員：もちつきはP T Aも経験がないのではないか。

関谷委員：高学年に子どもがいて経験があるP T Aも何人かいる。協議会の委員さん方には餅のつき方等を当日見ていただきたい。

佐川委員：声をかけていただければ行きますので、ぜひ声をかけてください。

牛村会長：来ていただける方については、当日よろしく願いいたします。

(5) その他

次回の学校運営協議会は、令和5年2月8日(水)10:00から開催予定。

(6) 挨拶